

(別紙4(2))

事業所名 ふれあいの家 高宮

作成日: 令和3年11月28日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の為、書面にてホームからの報告を行う会議となっている。コロナ収束後は、参加委員の増員やテーマを決めた会議の開催等、今後の会議の発展に向けて検討し取り組んでいく。	薬剤師や歯科衛生士、公民館館長、他グループホーム管理者等、参加委員を増員し、薬や口腔ケア等について、ミニ勉強会を行ったり、地域の困り事の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。	12ヶ月
2		利用者の高齢化や重度化、そしてコロナ禍の中での日々の暮らしの活性化	90歳以上の利用者が4名おられ、全体的に重度化が進んでいく中で、今は体力的に難しいとの思いから、レクリエーションや日々の暮らし方がマンネリ化しつつある。今の状況の中で何が出来るのかを考え、工夫して取り組む力を強化していく。	今現在、利用者一人ひとりの状態はよく見て理解している中で、一人ひとりに応じて何をしたらその方らしく豊かに暮らすことが出来るのかに焦点を当て、職員一人ひとりがしっかりと考えて取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。